

ふ る さ と 甲 東

発 行 人
甲東コミュニティ
委 員 会
53-4591
編 集
「ふるさと甲東」
編 集 委 員 会

街かどのスケッチ

「楽しみなスイカ」

絵 樋ノ口小学校

3 年 藤田 采
ふじた あや



エッセイ わたしの甲東

『宮っ子』創刊45周年を迎えて

『コミュニティ西宮』と見慣れない表紙の冊子を手にしたこと、今でもはつきりと覚えています。それは、45年前のことでした。

西宮コミュニティ協会は、「新しい地域社会の創造」を目指し、また、「コミュニティづくり」を維持するために、全市組織として設立され、各地域でコミュニティ誌を発行することとし、わがまち誌『コミュニティ西宮』創刊号』ができました。創刊号には、まだ『宮っ子』というタイトルはなく、後に、市民公募で誕生しました。



『宮っ子』編集員となり、いろいろな場所への取材や、他団体との交流の中で、出会いに恵まれ、年を重ねてきました。『宮っ子』ふるさと甲東』は、当初、西宮市社会福祉協議会甲東支部の広報としての位置

づけから始まり、現在は、甲東コミュニティ委員会の広報部として活動しています。

創刊号を手にした時、「西宮の未来が見えてくるなあ」と思ったことを懐かしく感じます。また、これからどのように地域と関わり、次世代へとつないでいくかを考えていくことの大切さも実感しています。

こんなにも長く『宮っ子』に関わり、良くも悪くも人生の一部となったことを、今となっては本当に良い出会いだったと感謝しています。

西宮コミュニティ協会の『10年のあゆみ』『20年のあゆみ』『30年のあゆみ』、そして、ふるさと甲東(地域版)の『20年のあゆみ』に目を通すと、人とのつながりの大切さと誠実さ、西宮市民としての誇りなど、先人たちの活動してきた瞬間や未来への願いに触れることができます。

時代の流れの中で、これまでとは異なることもあるでしょうが、変わることなく、『宮っ子』の応援団であり続けたいと思います。

樋ノ口町 川東 美千代



ともに生きるまちづくり

～西宮市制百周年記念だんじりパレード～



西宮市 100周年
(西百祭)第0026号

西宮市は、今年4月に市制施行100周年を迎えました。それを記念して、4月20日に「西宮市制百周年記念だんじりパレード」が行われ、16基(市内各地から14基、大阪から2基)のだんじりが集結し、旧マックスバリュースタッフ西宮浜町店→廣田神社→市役所前→廣田神社のルートをえい行しました。

当日は、若山町にある大市八幡神社の大市太鼓台も参加し、イベントを盛り上げる一翼を担いました。



【大市太鼓台の歴史】



大市太鼓台は、幕末の天保5(1834)年に制作されたと考えられる200年近い歴史を持つ地域の文化財です。

4本柱に竜の柱巻彫刻が施されており、柱巻彫刻が施された太鼓台としては、西日本最古級の太鼓台です。古くは、大市八幡神社の例祭にえい行していましたが、担ぎ手不足から途絶えていました。

平成26(2014)年に地域の有志により、「大市八幡神社神輿・太鼓保存会」が設立され、文化庁の補助金を得て太鼓台の復元修復が行われました。また、地域の長老から伝承された太鼓の音頭や掛け声を習得し、平成28年に40年ぶりに祭礼でのえい行が復活しました。

→報徳学園相撲部が担ぎ手の応援に！
太鼓台を持ち上げる様子は圧巻でした！



→16基のだんじりパレードは迫力満点☆



沿道には市民をはじめとする幅広い世代の人たちが集まり、拍手や掛け声でエールを送っていました。また、マンションのベランダからも、手を振り笑顔で見送る人たちの姿がたくさんありました。

今回、担ぎ手として参加した青年団 団長の木谷巨成さんは、「天気にも恵まれ、約2年間かけて準備をしてきた日々が報われたようで、この日を迎えられたことをとてもうれしく思います。現在、保存会には約200人が入会しています。文化を伝承する活動を通して、子どもたちの育成と地域の活性化、さらに西宮市全体を支えることにもつながればと頑張っています」と話していました。

活動を積み重ねていく中で、保存会の協賛者も増えました。また、来年はえい行復活から10周年を迎えます。節目の年に、ぜひ大市太鼓台を見に出かけてみませんか！ 保存会の皆さんの思いが、未来へ受け継がれていくことを願っています。

↑市制100周年と同時期を歩んだ若山町在住の梅林久子さん(大正15(1926)年生まれ)。市役所前で担ぎ手の皆さんと笑顔で記念撮影。百寿おめでとうございます！

いけだ鍼灸整骨院

受付時間		曜日	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~1:00		○	○	○	休	○	○
午後	5:00~9:30		○	○	○	休	○	休

日祝休み

予約優先

西宮市野間町4-32-101

TEL 0798-64-5699



院長 池田裕昭

「『宮っ子』ふるさと甲東」ができるまで

『宮っ子』ふるさと甲東の8ページを甲東・段上・段上西・樋ノ口小学校区の編集員が分担して、一緒に誌面を作っています。その編集過程を紹介します。

START



1 企画



行事予定・身の回りの出来事などを出し合って、記事の内容を決定します。

2 取材



取材に行って写真を撮ったり、様子をメモしたりします。時にはインタビューをすることも。

3 出稿

誌面作りをします。専用の用紙に原稿や写真をレイアウトして、構成します。



小西印刷所に入稿

4 校正

刷り上がった誌面の読み合わせをします。修正箇所があれば赤ペンで訂正します。



二校・校了

5 完成・配布

何度かの校正を重ねて、誌面が出来上がります。完成した『宮っ子』は各家庭や学校にボランティアが配布します。



「『宮っ子』ふるさと甲東」は市民が作る地域情報誌です。編集員みんなで和やかに誌面作りをしています。編集作業に興味がある人は「宮っ子」を一緒に作りませんか？

※連絡先

甲東コミュニティ委員会
☎ 53・4591

GOAL

LE MONDO

SENIOR HOME

まるでオーベルジュのような
介護付き有料老人ホーム

Phone 0798-64-3333
西宮市若山町8-17

ご見学随時承ります。
まずはお電話下さい。





開幕直後の春休みに行き、記念撮影

昭和45(1970)年、大阪府吹田市で開催された「日本万国博覧会」は、アジア初の国際博覧会で、「人類の進歩と調和」をテーマに掲げた、日本の高度成長を象徴する一大イベントでした。

ここでは現在開催されている「2025年日本国際博覧会」ではなく、皆さんの体験と思い出から、55年前の万博を振り返ってみましょう。



大阪市に住んでいたからか「何回行った？」があいさつ代わりでした。母はコンパニオンに憧れてミニスカートをはいて行きました。父はドイツ館でジャガイモ料理とウインナーを食べて感動したそうです。 M・T



広島県呉市から西宮市へ転居したばかりの頃。長蛇の列で、月の石など人気のパビリオンには入れませんでした。でも、パビリオンの係員が海外の人ばかりだったのが当時は珍しく、印象に残っています。 F・S



万博限定、浮世絵のたばこ

松下館で着物のお姉さんにお茶を入れてもらいました。記念(万博限定)に買ったたばこ(HOPE)は未開封で1つ残っています。 H・Mの父

大学生だったので夏休みを利用してアルバイトをして、無料の通行証をもらって通いました。期間中、ランチをフランス館で何度も食べました。 H・Sの父

当時は10歳で学校の旅行で万博に行きました。来場していた外国人客と握手をして、はしゃいでいたことを覚えています。万博の曲を地域の盆踊りや、学校の運動会の総踊りで踊りました。 Y・Aの母



太陽の塔、人間洗濯機、動く歩道を強烈に覚えています。楽しみにしていた月の石は、当時中学1年生の私には、ただの軽石のように見え、別の意味で衝撃的でした。 K・Mの母



※イラストはイメージ

アメリカ館でアポロ11号と月の石を見ました。ソ連館は入れませんでした。ソ連屋根のカーブが印象に残っています。サンヨー館で人間洗濯機、日本館では近未来の乗り物にリニアモーターカーが走る模型を見て、子ども心にわくわくしたのを覚えています。 M・Y

門戸厄神 東光寺

厄除例祭 毎月19日
 であい門戸厄神 7月6日(日)・9月7日(日)
 11月2日(日) 開催予定

〒662-0828 西宮市門戸西町2-26 電話 0798-51-9090

●年中行事●

新年祈禱会 (初詣・阪急電車三福詣)	1月1日～7日
厄除大祭	1月18日・19日
夏季厄除大祭	8月19日(厄神夏祭り)
秋季厄除大祭	10月19日
七人納星祭	11月15日(11月中受付)
	11月19日(3月より受付)
	12月19日
	冬至(星祭り)

☀️千里中央に住んでいた叔父夫婦に招待され、家族5人で行きました。人が多く、長女の私が迷子になり、両親は困ったそうです。叔母の焼いてくれた朝のロールパンの香りやおいしさが忘れられません。

S・K



会場内の移動にモノレールが運行されていたそうです。

※イラストはイメージ

☀️ドイツ館でカラヤン（ベルリン・フィル）のレコードを買いました。

Oguriin

☀️私は連れて行ってもらえず、行った友だちがうらやましかったです。通っていた幼稚園は、万博に行くための休みは出席扱いでした。

N・H

☀️20歳の時、何度も行きました。動く歩道や月の石のことを覚えていますが、どれが月の石なのか分かりませんでした。

T・Hの義母

☀️セイロン館のレストランで夕食をとりましたが、テーブルからの風景は今でも覚えています。宝塚市に転居したばかりでしたが、親類や知人の5組を泊めました。

K・S

☀️コココーラ館のフローズンコーラが珍しく、とてもおいしかったです。

T・T

☀️社会人になったばかりで気持ちのゆとりがなかったけれど、父親が行きたいというので両親と3人で行きました。当時明石市に住んでいた吹田市までは遠いうえに、現地での食事も混雑で大変でした。

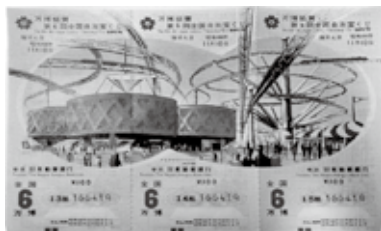
A・H

☀️『世界の国からこんにちは』の歌に惹かれるように門真市から会場に行きました。どこをどのように回ったかは覚えていません。当時の写真はありませんが、その代わりにEXPO'70の入場券をアルバムに貼っていました。一緒に万博協賛全国自治宝くじも貼っていました。抽選日は昭和44年11月10日。もう遅いですね。

K・S



入場券と万博協賛全国自治宝くじ



☀️電車や会場内は大混雑。入ったアメリカ館も並び疲れてゆっくり見れず、広さと暑さのせいで体力を消耗しました。

F・Mの両親

☀️子どもが1歳だったので主人だけが行きました。太陽の塔に長い時間並んだそうです。

Y・N

☀️大阪市に住んでいて、学校からと友だちとで、2回万博に行きました。「全面360度スクリーンで映像を映す趣向が多く、スケールの大きさに圧倒されました。

K・K

☀️今回のアンケートで、万博を経験していなかった人には、親世代と話して思いがけないことを聞くことができたかもしれません。アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



お得なキャンペーン実施中!!
公的年金の受取りは、近くて便利なJAへ!!

年金受取り口座のご指定替の方もぜひ! 詳しくは下記までお気軽にご相談下さい!

お近くのJAへ
急げ!!



HYOGO ROKKO

JA兵庫六甲 甲東支店

西宮市神呪町3-41 電話0798-51-3131 <http://www.jarokko.or.jp/>

感謝の気持ちを形にして 「母の日プレゼント作り」

段上児童館で「母の日プレゼント作り」が、5月7、9、10日の3日間、開催されました。小学生を対象に、計4回開催されたイベントでは、各回18人ほどの子どもたちが参加しました。

作るのはロゼットとメッセージカード。ロゼットとは、リボンとくるみボタンで作るブローチで、中央のボタンにはお母さんの名前や「ありがとう」といった、子どもたちの思いが込められた言葉を入れています。

最初は、ロゼットの材料となるリボン選びから。「この色にしようかな」「先生、どっちがいいと思う?」と迷う声も聞かれました。



一生懸命作りました

材料がそろったら作業開始。リボン貼りがうまくいかない子どもには、先に終わった子

世界に1つのプレゼント



リボンにビーズを貼る工程では、机に顔がつきそうなく

らい真剣に取り組む姿も。「ビーズがつかない!」と苦戦しつつ丁寧に仕上げました。

続いて、折り紙で赤いカーネーションを作ってカードに貼ります。複雑な折り方に四苦八苦しなながらも、お母さんへの思いを込めて一生懸命折り進めます。

メッセージに想いを込めて



カーネーションの横には「お母さん大好き」「お仕事がんばってね」など、思い思いのメッセージをカラフルに書き添えました。

完成した作品はラッピングしてお持ち帰り。「できた!」「難しかったけど楽しかった!」と、満足げな笑顔があふれていました。

スポーツ...

ピクト表示設置 「通学路点検に寄せる思い」

自転車と歩行者とのトラブル防止のため、甲子園段上線の一里山町から段上町7丁目の歩道上に「自転車徐行」「歩行者優先」のピクト表示が26カ所新設されました。特に、一里山幼稚園南の急坂を猛スピードで駆け降りる自転車が多く、以前から設置されていた「自転車スピード出しすぎ注意!」の看板も効果がなく、接触事故が後を絶ちませんでした。



「急勾配あり」の道路標識がある一里山幼稚園南の急坂

段上地区青少年愛護協議会発足時から毎年行われている「通学路点検」。さらに5年に1度、学校が中心となり、市・担当課、警察署、PTA、地域防犯、補導委員、青愛協が協力し、「段上小学校通学路合

新しく設置されたピクト



といった背景のもと「※西宮市自転車利用改善計画」に基づいて、甲子園段上線の交通環境

対策として、市がピクト表示を2月18日に設置しました。

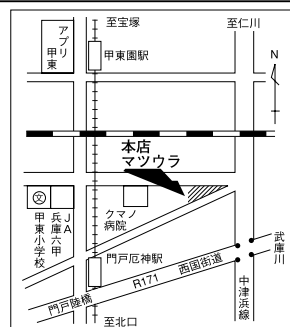
青愛協会長は「毎年挙がってくる学校、PTA、地域の声を大切に伝え続けています。子どもたちが安全に通学できるためにしてきたことは、安全・安心なより良い環境、地域づくりにつながります」と熱く話していました。青愛協の活動の中で最も長く最も力を入れている「通学路点検」。段上つ子が安全に楽しく学校へ通えるようにとの発足当時から、今も受け継がれています。

※安全・安心で快適な自転車利用の環境と歩行者の安全性が高まる歩行環境の実現を目指す計画

～ 地域密着型 自転車専門店 ～
安心できる自転車をお届けできる安全整備士の店

サイクル ショップ
マツウラ

☎663-8003 本店 西宮市上田市2丁目2番17号 ☎52-2036 定休日: 毎週 木曜日 第1・第3水曜日



天気予報を調べ、4月16日に決めると、予約のために主人はスマートフォンとにらめっこ。それまではテレビでパビリオンの紹介をしていても「ふ〜ん」くらいの気持ちでしたが、徐々に気分が盛り上がってきました。



ミャクミャクカラーの
撮影スポットで、テン
ションが上がります

2人とも70歳前後で腰痛があるため、まずは予約ができたパビリオンまでは「eMOV（電気バス）」で移動するようにしました。予約時間までは大屋根リングの上で撮影タイム。

パビリオンは思っていたほど離れていない！ 歩きながら外観やオブジェを楽しみ、また、タイミングが合えば民族舞踊などを見ることができ

ました。



大屋根リングの上から
会場の様子をチェック！

ベンチがあらこちらにあるので、少し歩いてはひと休み。また少し歩いては水分補給でひと休み。若い人のようにスムーズには移動できませんが、平日だったので比較的空いていて、自分たちのペースでそれなりに楽しむことができました。

7時間の滞在中、e Mov
erを3回利用し、入場待ち
で並んだりしていましたが、
それでも1万3000歩以上
も歩きました。

後日、知人がLINEで送ってくれた夜景の美しさに一言「今度は夕方から行こう！」

神呪町
S
・
H

すぽん

できる人が、できる時に、
できることを！

樋ノ口小学校では、学校での子どもたちの様子が、できるだけ保護者に伝わるようにと、ここ1年半、PTA活動の中で、広報誌を作成して情報を発信する取り組みに力を入れてきました。

令和6年度の活動は12人の保護者が集まり、「できる人ができる時に、できることを！」をモットーに、打ち合わせ、取材、編集作業などを工夫しながら進めてきました。



チームワーク抜群の令和6年度広報部の皆さん

その成果が実を結び、令和6年度兵庫県PTA協議会主催第39回兵庫県内小・中学校PTA広報誌コンクールで、樋ノ口小学校PTAだより「つなぐ」が、最優秀賞を受賞しました。



審査員から「つなぐ」をキーワードに、保護者の視点で取材した運動会の感性豊かな記事は読み応えがあり、共感を呼んだことでしょう。編集方針をしっかりと話し合ったことがうかがえ、紙面全体に創意工夫が感じ取れます」と好評を得ました。

小学校、先生、子どもたち
保護者、地域をつなぐツールの
一つになればと尽力してきた皆
さんの思いが、これから多く
の人に届きますように。

地元に親しまれ
信頼されて61年

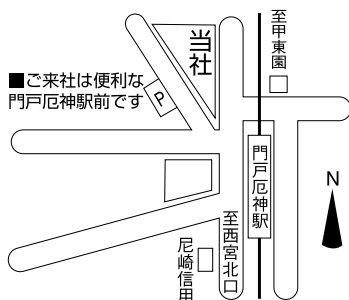
<http://www.koba-f.co.jp>

 **小林不動産(株)**

兵免⑬第6655号

西宮市門戸東町 4 番 5 5 号 (阪急門戸厄神駅前)

☎(0798)52-1025(代)



不動産のことは当社へ
何なりとご相談下さい!!



告 知 板

甲東公民館

☎ 51・3748

☆古典文学鑑賞

暑さを吹き飛ばす

～古典に描かれる納涼～

日時 9月11日(木) 13時30分～15時

講師 桃山学院大学講師

鈴木 小春氏

場所 講堂

定員 当日先着60人

※「公民館ニュース」記載の日程が変更になっています



☆関学落語会

日時 9月21日(日) 13時30分～15時

出演 関西学院大学

甲山落語研究会

場所 講堂

定員 当日先着60人



※諸事情により予告なく中止、変更する場合があります

段上公民館

☎ 53・0931

☆カマキリ博士の

わくわく昆虫教室

～チョウの知られざる秘密

を大公開！顕微鏡を使っ

てモルフォチョウの観察

や工作をしてみよう！～

日時 7月31日(木) 13時30分～15時

講師 昆虫科学研究センターISRC

渡部 宏氏

対象 小学生

定員 30人(申し込み多数の場合抽選)

申込み ①公民館での受け付け

平日9時～16時45分

②はがきに氏名・住所・

連絡先を書いて

段上町2-10-3

段上公民館まで

7月11日(金)必着

後日連絡します

材料費 300円(当日集金)

締め

材料費



☆楽しい親子落語入門

～笑って脳と身体を健康に～

日時 7月22日(火) 15時～

講師 落語家 桂 福丸氏

対象 小・中学生と保護者

定員 当日先着80人

申込み 事前申し込み不要



段上児童館

☎ 53・8303

☆児童館まで歩いてこよう！

シールラリー

日時 7月22日(火)

～8月26日(火)

対象 小学生(定員なし)

申込み 事前申し込み不要

※歩いてきたらシールがもらえるよ



☆環境学習講座

「種のふしぎ」

日時 7月23日(水) 15時30分～

対象 小学生

申込み 要申し込み

定員 25人



☆抱っこひもでフラ

日時 7月30日(水) 10時30分～11時15分

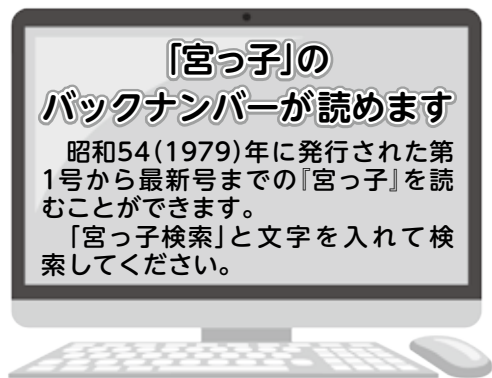
対象 0～1歳

申込み オンライン

定員 15人

「宮っ子」の
バックナンバーが読めます

昭和54(1979)年に発行された第1号から最新号までの『宮っ子』を読むことができます。
「宮っ子検索」と文字を入れて検索してください。



プチエッセイ

長男の小学校の入学式でもらった「宮っ子」編集員募集のチラシがきっかけで、『宮っ子』編集員に参加して1年がたちました。当時、次男はまだ生後3カ月。子どもが小さい中で地域活動に関われるのが不安もありましたが、『宮っ子』に携わってみたい気持ちで勝り、思い切って応募しました。
「迷走になるかも」と心配しながら次男を連れて初めて会議に参加したとき、皆さんがとても温かく迎えてくださり、「地域の人たちと、こんなに優しいんだ」と感動したのを覚えています。

時には子どもたちを取材に連れていくこともあり、一緒にイベントを楽しんだり、地域の魅力を発見したり、私自身も学びの多い時間でした。今では子どもも「僕も取材してみたい」と興味を持つように。親子で地域と関わっていることがうれしく、あの時勇気を出して参加して良かったと感じています。これからも楽しみながら『宮っ子』を作っていくしたいと思います。

編集員 O・Y

